

選択日本語 A		講義	非常勤講師 高橋 直美
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21100203

1. 授業のねらい・概要

留学生にとって日本語の読む・書く・話すは必要不可欠である。本講義では大学の講義や日常生活のみならず、社会でも活躍できるように、日本語の基礎である文型や文法を学修することで文章読解力を身につけ、日本語の基礎力をアップする。

そして、国際ビジネス学科のディプロマシーである「(2) 様々なビジネスの現場において必要とされる実践的な能力を有する。(3) 修得した知識・技能をもとに、論理的に考える力やコミュニケーション力を活用することで、社会人としての高い基礎力を有する。」に基づき、社会人にふさわしいコミュニケーションを日本語でできるように学修する。

2. 授業の進め方

授業計画に沿ったプリントを配布する。授業は基本的に講義形式であるが、練習問題などを利用して質疑応答を行い、受講生の理解度を確認しながら進める。練習問題に関しては解答の提示をしたうえで説明を行う。

3. 授業計画

1. 日本語能力試験 2 級模試	9. 文型の整理 (結果・条件・基準・方法)
2. 文型の整理 (時間・時期)	10. 文型の整理 (様子・傾向・話題)
3. 文型の整理 (立場・状況・場合)	11. 文型の整理 (対象・意思・以降)
4. 文型の整理 (限定)	12. 文型の整理 (理由・根拠・目的)
5. 文型の整理 (例示・比喻)	13. 文型の整理 (可能・不可能・評価・感想)
6. 文型の整理 (対比・同時・二つの状況)	14. 文型の整理 (見方・考え方・日本語能力試験 1 級の練習)
7. 文型の整理 (不変・無関係・強調)	15. 授業のまとめと試験および試験問題の解説・解答
8. 文型の整理 (繰り返し・逆説・意外な気持ち)	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習：配布プリントやノートを再度見直すなど、授業内容を復習する (45 分)。

予習：授業の終わりに次回のプリントを配布するので、それを熟読し、問題を解いておく (45 分)。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

試験実施の後に出題の意図や解き方、解答を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

1. 漢字やひらがななど日本語が正しく読める。
2. 日本語の文型・文型を正しく理解できる。
3. 日本語の文章を正確に読み、理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業に取組む姿勢 (10%) および定期試験の結果 (90%) によって評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回プリントを配布し、それを使用する。参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

授業で学んだ日本語は日々の生活でぜひ実践してほしい。また、日々の生活で疑問に思った日本語表現等に関して授業時間に質問しても構わない。本講義は日本語能力試験に通じる内容のため、ぜひ日本語能力試験を受験してほしい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。